

## 次期障がい者（児）福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の利用状況・ニーズ把握調査アンケート結果報告について

### 1. 実施目的

第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画（令和9年度～令和11年度）策定のために、障がい者（児）や障がい福祉サービス提供事業者のニーズを把握する。

調査結果をもとに、障がい福祉サービスや地域生活支援事業の効果的な運用・施策の検討を行う。

### 2. 調査内容

- (1) 「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」のニーズ把握
- (2) 地域資源のニーズ把握
- (3) 地域生活支援拠点整備事業（ささえ愛サポート）の利用実態及びニーズの把握
- (4) 出雲市基幹相談支援センター（あんど）の利用実態及びニーズの把握
- (5) 地域生活支援事業の利用実態及びニーズ把握

### 3. 調査実施時期

令和7年9月24日（水）～令和7年10月31日（金）

### 4. 調査方法

利用者：直接記入式の調査票を郵送により発送・返信用封筒にて回収

法人、事業所：Webによる回答

### 5. 調査対象及び回収状況

①サービス利用者（児）・手帳所持者 531人／1,000人（53.1%）

②市内全ての障がい福祉サービス提供事業者

法人 37法人／76法人（48.7%）

事業所 80法人／163事業所（49.1%）

## 6. アンケート結果抜粋

### 利用者基本情報

#### ■年齢（利用者アンケート問 2(P.3)）

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
回答数	43人	80人	59人	55人	63人	69人	60人	60人	32人	10人
比率	8.1%	15.1%	11.1%	10.4%	11.9%	13.0%	11.3%	11.3%	6.0%	1.8%

#### ■生活している場所（利用者アンケート問 4(P.4)）

生活場所	自宅	入所施設	グループホーム	医療機関	その他	無回答
回答数	446人	27人	37人	12人	4人	5人
比率	84.0%	5.1%	7.0%	2.2%	0.8%	0.9%

#### ■手帳所持状況（利用者アンケート問 6(P.5～6)）

手帳等種別	身障手帳	療育手帳	精神手帳	難病
回答数	218人	217人	124人	76人
所持率	41.1%	40.9%	23.4%	14.3%

### (1) 「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」のニーズ把握

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問19、問20 障がい福祉サービス、地域生活支援事業（現在利用状況・今後利用希望）	利用者 P.15～18	概ねどのサービスも今後の利用希望が現在の利用より多くなっている。自立訓練（生活訓練）、自立訓練（宿泊型）の今後の利用希望が多い。また児童通所サービスでは、特に、放課後等デイサービスは、現在利用している（85%）及び今後利用したい（90%）が非常に高い。	地域生活への移行及び継続の支援や、自立のためのサービス提供体制の構築 ・不足するサービスの対応 ・必要なサービス量の見直し
事業所：問6、問7 サービス提供状況及び対応状況	事業所 P.5～8	依頼が多く対応できていないサービスとして、施設入所、短期入所、居宅介護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援事業がある。	

### (2) 地域資源のニーズ把握

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問14 休日の過ごし方（希望）	利用者 P.11	休日の過ごし方の希望は、「自宅で過ごしたい」が最も多く61.0%、次いで「商業施設へ出かけたい」34.5%、「娯楽施設へ出かけたい」21.7%となっている。	多くが希望している住み慣れた地域で家族と一緒に生活するための、相談先及び地域住民の理解。 ・相談支援専門員の確保 ・住民理解の促進
利用者：問21、問21-2 今後住み慣れた地域での生活を希望するか、どのような生活を希望するか	利用者 P.19	施設以外の住み慣れた地域での生活希望が67%、その中で「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く約64%となっている。	
利用者：問21-3 地域での生活に必要なこと	利用者 P.19	住み慣れた地域で生活するために必要なこととして、「困りごと等の相談支援」が最も多く52%、次いで「地域住民の理解」49%となっている。※③ある程度必要④必要の選択割合	

### (3) 地域生活支援拠点整備事業（ささえ愛サポート）の利用実態及びニーズの把握

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問22① ささえ愛サポートの認知	利用者 P. 21	ささえ愛サポートを知っているのは、約10%。	地域生活支援拠点整備事業を継続していく。 ・職員の確保対策 ・地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）の周知の推進
利用者：問22③ ささえ愛サポートの利用希望	利用者 P. 21	今後の利用希望は、約44%。	
法人：問6-1 地域生活支援拠点の問題点	法人 P. 5	地域生活支援拠点登録の問題点として、「職員の確保」が最も多く約39%、次いで「サービス提供場所の確保」約31%となっている。	

### (4) 出雲市基幹相談支援センター（あんど）の利用実態及びニーズの把握

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問23-2 悩み事や困り事の内容	利用者 P. 22	悩み事や困り事で多いのは「障がいや障がいの特性に関すること」19.2%、「就労や仕事に関すること」19.2%「外出や社会参加に関すること」18.9%。（総数の割合）	基幹相談支援センターの利用推進。 ・悩みや困り事に対する丁寧な対応（障がいの特性、就労支援、外出や社会参加） ・基幹相談支援センター（あんど）の周知の推進
利用者：問23-3 ①基幹相談支援センター（あんど）の認知	利用者 P. 23	基幹相談支援センター（あんど）を知っているのは、約6%。	
利用者：問23-3③ 基幹相談支援センター（あんど）の利用希望	利用者 P. 23	今後の利用希望は、約40%。	

### (5) 地域生活支援事業の利用実態及びニーズ把握

#### 1) 移動支援事業

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問27 移動支援の利用目的	利用者 P. 26	利用目的は、「障がい福祉サービス提供事業所への送迎」が最も多く33%、次いで「通学・通園」25%、「日常生活（買い物）等の用事」23%となっている。	移動支援事業の、より利用しやすい制度の検討 ・事業所の定員拡大 ・利用時間のミスマッチの解消 ・事業所の人員不足
利用者：問29、問29-2 移動支援の利用回数が希望どおりか、希望どおりでない場合その理由	利用者 P. 27	「希望どおり」71%で、「どちらともいえない」11%と、「希望どおりでない」8%を選んだ理由として、「利用できる事業所に空きがなかった」「利用負担が高額だった」の回答が多い。	
利用者：問31 移動支援の満足度	利用者 P. 28	満足度は、74%が「十分満足している」「どちらかという満足している」と回答している。	
事業所：問11 サービス提供時の課題	事業所 P. 10	サービス提供時の課題として「変更やキャンセルが多い」が最も多く約28%、ついで「利用時間帯が重なる」約22%となっている。	
事業所：問12 移動支援事業の運営上の課題	事業所 P. 10	移動支援事業所の経営上の課題として、「職員確保が困難」が最も多く約45%、次いで「収益の確保」約24%となっている。	

## 2) 日中一時支援事業

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問42、問42-2 日中一時支援の利用回数が希望どおりか、希望どおりでない場合その理由	利用者 P. 35	「希望どおり」58%で、「どちらともいえない」13%、「希望どおりでない」12%を選んだ理由として、「利用できる事業所に空きがなかった」の回答が多い。	日中一時支援事業のより利用しやすい制度の検討 ・事業所の定員拡大。 ・事業所の人員不足。 ・報酬単価の検討。
利用者：問43 日中一時支援事業の満足度	利用者 P. 35	満足度は、「十分満足している」「どちらかという満足している」を合わせると66%となっている。	
事業所：問18 日中一時支援事業の経営課題	事業所 P. 13	日中一時支援事業所の経営上の課題として、「収益の確保」最も多く41%、次いで「職員確保が困難」が35%となっている。	

## 3) 訪問入浴事業

回答者：問No	アンケートページ	回答結果	課題
利用者：問48、問48-2 訪問入浴の利用回数が希望どおりか、希望どおりでない場合その理由	利用者 P. 38	「希望どおり」58%で、利用回数が「どちらともいえない」15%、「希望どおりでない」21%を選んだ理由として、「利用できる事業所に空きがなかった」の回答が多い。	訪問入浴事業のより利用しやすい制度の検討 ・事業所数の確保
利用者：問49 訪問入浴の満足度	利用者 P. 38	満足度は、「十分満足している」「どちらかという満足している」を合わせると70%となっている。	